

電子決済の普及と今後の課題

- 非接触型 IC カード電子マネー「Edy」と「Suica」からの考察 -

【目次】

序 論

第 1 章 電子決済とは何か

第 1 節 決済のしくみ

第 2 節 電子決済の誕生

第 3 節 電子決済の概要と種類

第 2 章 非接触型 IC カード電子マネーの登場

第 1 節 定義

第 2 節 誕生

第 3 節 概要

第 3 章 Edy と Suica の現状と光

第 1 節 現金との相違点

第 2 節 歴史と発展

第 3 節 広がる利用の範囲

第 4 節 高速認証技術

第 4 章 Edy と Suica の現状と影

第 1 節 セキュリティ面での不安

第 2 節 ユーザの支払い能力

第 3 節 不正使用の問題

第 4 節 永久存続の可能性

総 括

【目的】

情報化社会の発展に伴い、社会全体がデジタル化される傾向にある。また、インターネットの普及もめざましいものがあり、インターネットを利用した電子商取引の成長は、電子決済の種類増加、多様化とも密接に絡んでいる。その流れの中で近年、電子マネーと呼ばれる、新たな「お金」が出現した。これらは、電子決済手段の一翼をなすもので、なかでも、ソニーグループの発行する Edy と JR 東日本の発行する Suica は、先陣を切って登場した電子マネーであり、現在わが国で最も普及している電子マネーである。電子マネー Edy と Suica は、細かく分類すると、プリペイド方式非接触型 IC カード電子マネーに位置づけられており、両者は、その 2 大トップである。

本論文テーマ決定には、私自身、Edy、Suica の 1 ユーザとしての興味・関心が深く影響している。そして、利用者の 1 人として、利用に際し注意すべき点がないのか、安全が保障されているのかなど、メリット・デメリットを知りたいと思い、論文テーマとして研究、調査しようと心に決めた。本論文では、両者の比較も交えながら、Edy と Suica から垣間見られる、電子決済の普及のための道筋と、今後解決していかなければならない問題点を探っている。

【方法】

主として、文献、各種統計資料の収集、精査が中心になっているが、収集データの処理を通じて、問題点の洗い出しや、客観的、理論的考察を加えている。また、インターネット上の情報も、関わりが深いテーマでもあるので、積極的に活用した。

【結論】

Edy、Suica 両者に共通するメリット・デメリットで特筆すべきものは、安全かつ、高速な認証技術をメリットとして有していることで、スピーディな決済を可能にしている点だ。反対に、デメリット、すなわち今後の課題としては、関係する法律の未整備が挙げられる。安全な利用のためにも、法律によるカバーが必要だ。この法整備の遅れは、電子決済全体としての課題でもあり、電子決済を監督する各種法令が社会のデジタル化の波に乗ることこそが重要との結論に達した。

【参考文献】

電子決済システムのしくみ 井上能行著 日本実業出版社刊 2000 年 4 月

オープンソスマガジン 2006 年 7 月号 ソフトバンククリエイティブ刊 2006 年 6 月

クレジットカード犯罪トラブル対処法 末藤 高義著 民事法研究会刊 2005 年 8 月

JR 東日本 Web サイト 東日本旅客鉄道株式会社（ホームページ：<http://www.jreast.co.jp/>）

ビットワレット Web サイト ビットワレット株式会社（ホームページ：<http://www.edy.jp/>）